

第4章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2 m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16 mで、遺跡の範囲は南北360 m、東西160 m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2017年3月末現在22ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に

走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

II ハケ遺跡第15地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年3月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年4月8・9日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.2 mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは20～30 cmである。調査区北西隅で楕円形のプランを確認したため検出を行った。確認面の規模は東西(480)×南北(242) cm、底径(360)×(190) cm、深さ27.7 cmである。土層の観察から古代以降とみられる。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない



第8図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

い。

(2) 遺構と遺物

土坑から出土した遺物 1 点を掲載する。(第 10 図 1)。胎土に繊維を含み、コンパス文に組紐施文で関山式。

Ⅲ ハケ遺跡第 17 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 9 月 9 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014 年 9 月 26 日～ 30 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは 30 ～ 40 cm である。

近世以降の溝 2 本と近現代以降の陶磁器やガラス製品を廃棄したゴミ穴 1 基を確認し、一部を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

【溝】調査区の西端で溝 2 本を検出した。溝 1 は上幅 50 ～ 90 cm、下幅 20 ～ 35 cm、深さ 37.5 cm、溝 2 は上幅 60 ～ 70 cm、下幅 20 ～ 30 cm、深さ 43.1 cm である。覆土の観察からいずれも近世以降とみられる。

【ゴミ穴】調査区の東端で土坑 1 基を確認し、一部を検出した。検出部は半円形を呈し上端直径(122) cm、半截して深さ約 60 cm まで掘り下げたが、さらに深くまで遺物が堆積していたため調査を終了した。

遺物の一部をサンプルとして持ち帰った。近現代のゴミ穴で、陶磁器、ガラス製品等の所謂危険物を廃棄したものと考えられる。

【遺物】出土遺物は溝と遺構外出土を掲載した。(第 12 図 63 ～ 65)。65 は須恵器甕の破片で灰色。63 は縄文土器片で外面に縄文を施文する。64 も縄文土器で地文 RL 縄文に沈線間を磨消す加曾利 E Ⅲ 式。1 ～ 62 はゴミ穴出土遺物である。近現代のゴミ穴である土坑から出土した遺物は、コンテナ 4 箱分になるため大部分を割愛した。火工廠に関連するとみられる遺物と文字や印刻などがみられるものについて掲載した。詳細については第 11 表参照。

第 10 表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1 次	大字中福岡字遠見 1228 ～ 2021	1976.9.11 ～ 16	306	個人住宅	古墳住居跡 1、竪穴状遺構 3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1 次	大字中福岡字清見 1480	1977.8.2 ～ 27	1,794	宅地造成	縄文住居跡 5、奈良平安住居跡 2、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡 C 地区
B-1 次	中福岡 1228-40	1978.8.28 ～ 9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査 (Ⅰ)
B-2 次	中福岡 1181-2	1978.9.11 ～ 25	360	貸家建設	土坑 4、炉跡 1、土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅰ)
B-3 次	中福岡 1228-37	1979.7.20 ～ 31	166		土坑 3、縄文土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅱ)
B-5 次	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10 ～ 17	165		溝 1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅴ)
C-2 次	福岡 3-2068-1・2	1987.4.16 ～ 5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡 11、奈良平安住居 4、掘立 1	埋蔵文化財の調査 (Ⅹ)
C-3 次	福岡 2-2-1	1988.8.15 ～ 20	627	駐車場	縄文中期住居跡 4、平安住居跡 2	埋蔵文化財の調査 (11)
C-試	福岡 3-4-2	1988.10.24 ～ 28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (11)
C-4 次	旧福田屋敷地内	1990.6.20 ～ 9.6 H3.1 月末～継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処 3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方形土坑 12・溝 1・平安住居跡 3・縄文中期住居跡 2、縄文後・晩期住居跡 3	2 年度教育要覧 市史資料編
C-6 次	福岡 3-1189、2065-2	1993.5.6 ～ 18	142	個人住宅	縄文中期土坑 6	埋蔵文化財の調査 (16)
C-4 次	福岡 3-2069-1 の一部	1994.6.10 ～ 1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡 5、土坑 30	埋蔵文化財の調査 (17)
C-試	福岡 3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査 (22)
C-7 次	福岡 3-2	(2006.7.10 ～ 22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群 3
C 区 8	福岡 3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群 6
C 区 9	福岡 3-1257-7、1259-1	(2010.2.2 ～ 4)	120	個人住宅	土坑 1、風倒木 1	市内遺跡群 8
10	福岡 3-1363-14	(2011.4.22)	122	個人住宅	時期不明溝 1	市内遺跡群 14
11	福岡 3-1363-11	(2011.4.21 ～ 22)	158	分譲住宅	縄文時代屋外埋裏 1、土器	市内遺跡群 14
12	福岡 3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット 1、土器	市内遺跡群 15
13	福岡 3-1484-1	(2013.10.2 ～ 3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 18
14	福岡 3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 18
15	福岡 3-1228-19	(2014.4.8・9)	184	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群 20
16	福岡 3-1254-7・14・17	(2014.8.11 ～ 9.2)9.3 ～ 9	68	分譲住宅	古墳 1 基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	未報告
17	福岡 3-1219-1・2	(2014.9.26 ～ 30)	99	個人住宅	現代のゴミ穴 1、近世～近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群 20
18	福岡 3-1182、2066-5	(2014.12.4 ～ 10) 2015.1.6 ～ 16	511	分譲住宅	縄文時代中期住居跡 1、炉 4、土坑 2、溝 2、縄文土器	市内遺跡群 16
19	福岡 3-1222-1、1223 ～ 1225、1255	(2015.3.17 ～ 5/11・10/13) 6/2 ～ 9/19	2,297	宅地造成	古墳 3、溝 2、縄文土器、土師器、埴輪	未報告
20	福岡 3-1252-1	(2015.10.14 ～ 16) 2015.10.29・30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡 1、土坑 1、土師器、火工廠境界杭	未報告
21	福岡 3-1193-4・15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
22	福岡 3-2061 の一部	(2016.12.26 ～ 2017.1.19) 2017.1.25 ～ 2.8	249	はけ自治会集会施設	古代住居跡 1(H18)、土坑 13、ピット 13、縄文土器、土師器	未報告

Ⅳ ハケ遺跡第 16・18・19 地点

ハケ遺跡第 16・18・19 地点の調査は、平成 26(2014)年度に行った。ハケ遺跡第 18 地点についてはふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 17 集『市内遺跡群 16』(2016.3)ですでに試掘調査の報告と本調査の報告を行っているため、本書では割愛した。

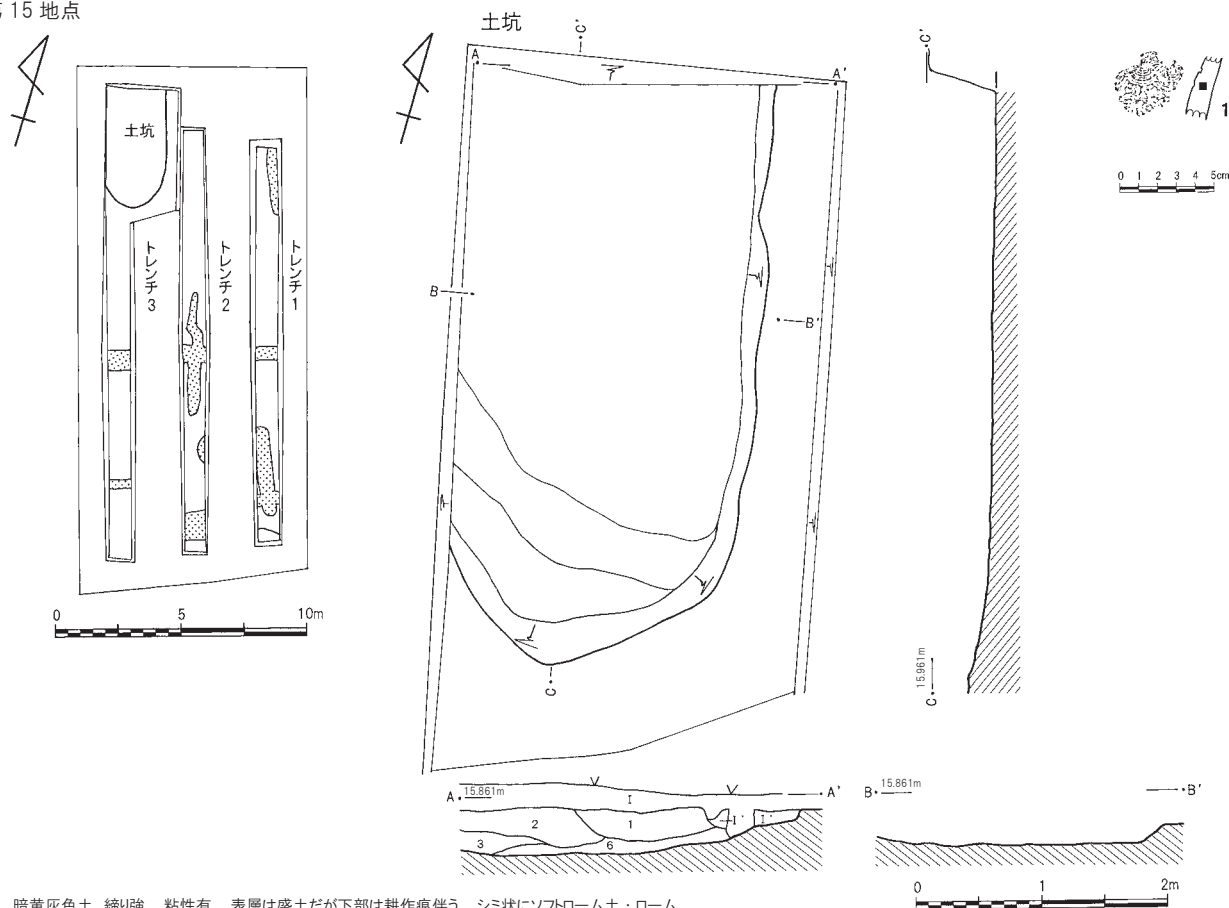
また第 16・19 地点については個人住宅建設と民間

の宅地造成に伴う本調査を実施した。特に両地点では 6 世紀代の古墳 4 基をはじめとする多数の遺構と人物埴輪等の遺物が出土した。本報告にあたっては両地点の関連性が強いと、合わせて報告する事が遺跡の内容をより正確にまた詳しく報告できるため、改めて今年度に報告書の刊行を予定しており本書では割愛した。



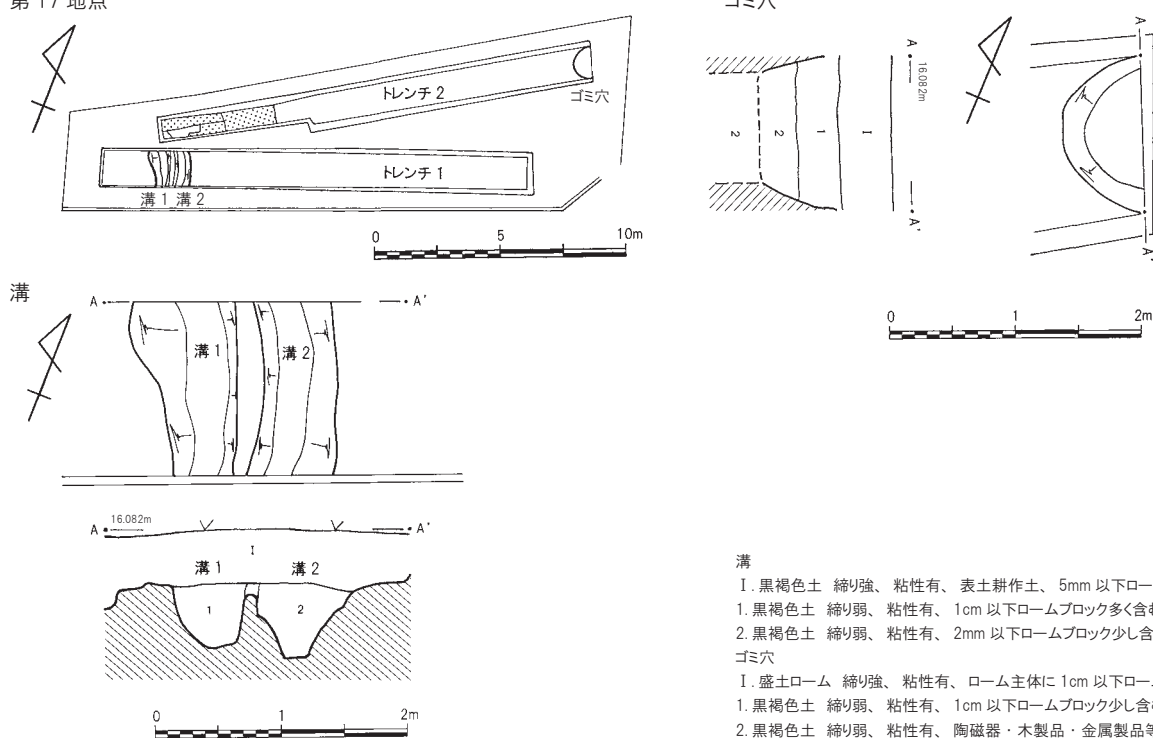
第 9 図 ハケ遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第15地点



- I. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、表層は盛土だが下部は耕作痕伴う、シミ状にソフトローム土・ローム粒・黒褐色土・灰色土少し含む
- I'. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に灰色土を多く含む、耕作土
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強い、2mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調は1層に似るが、3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調2層より明るく、黄灰色味が有る、3mm以下ローム粒多く含む
6. 黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土と暗黄灰色土を主体にシミ状のロームブロックを多く、5mm以下ローム粒少し含む

第17地点



溝

- I. 黒褐色土 締り強、粘性有、表土耕作土、5mm以下ロームブロック多く含む
1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm以下ロームブロック多く含む
2. 黒褐色土 締り弱、粘性有、2mm以下ロームブロック少し含む
- ゴミ穴
- I. 盛土ローム 締り強、粘性有、ローム主体に1cm以下ロームブロック少し含む
1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm以下ロームブロック少し含む
2. 黒褐色土 締り弱、粘性有、陶磁器・木製品・金属製品等多量に含む

第10図 ハケ遺跡第15・17地点遺構配置図(1/300)、第15地点土坑(1/60)、出土遺物(1/4)、第17地点溝・ゴミ穴(1/60)



川崎遺跡第 41 地点調査風景



川崎遺跡第 41 地点トレンチ 1



ハケ遺跡第 15 地点調査風景



ハケ遺跡第 15 地点土坑



ハケ遺跡第 15 地点土坑



ハケ遺跡第 15 地点出土遺物



ハケ遺跡第 17 地点調査風景



ハケ遺跡第 17 地点トレンチ 2